



Q 高速道路の工事も年度末に多いと聞きましたが、本当ですか？

A

年度末だから、補修工事が多くなるということはありません。

たとえば舗装の打ち替えは、温度管理が重要になってきます。そのため品質管理上適切な気温であること、降雨が比較的少ないことなどを考慮して実施日を決定しています。

その他の補修についても、交通量やさまざまな条件を考慮しながら、年間で補修計画を立てています。

工事の日数についても、なるべく工事の集約化を図り、回数や時間を減らすように工夫しています。

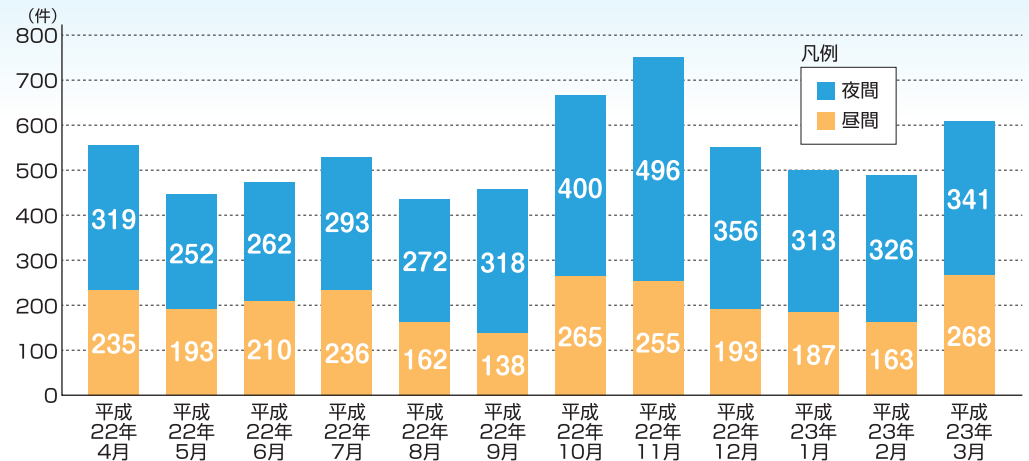
アスファルト舗装補修作業



舗装工事は、春や秋などの季節が適しています。降雨も品質に影響することから、なるべく気候が安定した時期を選びます。



2時間以上の規制を伴う工事の月別実施件数(平成23年度実績)



※補修工事や点検作業、清掃などの規制も含む

雨が続くと、ポットホールがしやすい？

交通量が多かったり、大型車が多い場所などは、舗装のアスファルトが徐々に痛んでいきます。その痛んだ箇所に雨が入り込むと、アスファルトがはがれやすくなり、車両が通過した時に、その部分がはがれてしまったり、ポットホールが開いたりしてしまいます。このような舗装の状態は、走行する車にとっても危険ですし、放置しておくともどんどん大きくなっていくため早急に処置をする必要があります。

そのため雨が続いた後などは、念入りに路面の点検を行っています。



舗装がはがれて雨水がたまった状態

